

# 西日本・加藤初勝利！

木村佳司

加藤弘之（ES 関東）が公認 E クラス初勝利を手にした。番場洋子は活動の拠点を関西から関東に移しセミプロ宣言。慣れ親しんだ関西のトレインを勝利で締めくくった。

平成 17 年度西日本大会  
2005 年 11 月 27 日（日）滋賀県野洲市

## 加藤弘之・初勝利！

愛知世界選手権の日本チームの活躍は記憶に新しいが、その日本ナショナルチームにこの10月から新たに加わったのが加藤弘之（ES 関東）だ。

その加藤が西日本大会で公認 E クラス初勝利を飾り存在を大いに PR している。

「西日本大会は、あまりミスを恐れずアグレッシブに走ろうとした。初めて E クラスで勝つことができずごく嬉しい。

この10月からナショナルチームに入ることができたが、今まで大きなレースでの結果が無かった。今日の結果で胸を張ることができる。」

（会場インタビューから）

若い選手がどんどん出てくれば日本のオリエンテーリングシーンも面白くなる。活気が出る。2005 年の愛知から2006 年のデンマークにストーリーをつなぐのは加藤なのか、それともベテラン選手か？興味は尽きない。お互い切磋琢磨して、より高い次元へと向かってもらいたい。

「自分は今日のようなレースよりもミドル種目のほうが得意。デンマークにフォーカスして準備していこうと思う。この冬で一回り速くなりたい。」（会場インタビューから）

西日本大会が行われた滋賀県の「希望が丘文化公園」のトレインは微地形が連続する難解なエリア。このトレインで勝てたということは技術的にも高いものを持っていると言えるだろう。



M21E で優勝した加藤弘之（ES 関東）

## 西日本大会 2005 男子

M21E	7600m	530m
1	加藤弘之	ES 関東 1:13:21
2	紺野俊介	横浜 OLC 1:14:30
3	篠原岳夫	渋谷で走る会 1:18:44
4	松澤俊行	三河 OLC 1:21:19
5	柳下 大	Forester 1:22:07
6	山本英勝	渋谷で走る会 1:23:52
7	水嶋孝久	人間市 OLC 1:25:04
8	多田宗弘	多摩 OL 1:26:48
9	小暮喜代志	ES 関東 1:31:11
10	和久田好秀	静岡 OLC 1:31:14

## 番場洋子・関西にお礼

番場洋子はこの秋に活動の拠点を関西から関東に移した。京都の家を西日本大会前日に引き払ってこのレースに臨んだという。

「勝って関西を去りたかった。」

そんな番場が関西でのお礼にと素晴らしいレースを見せてくれた。2位と5分以上離しての圧勝だ。序盤でややもたついたものの中盤から他の選手をぐいぐい引き離す展開。

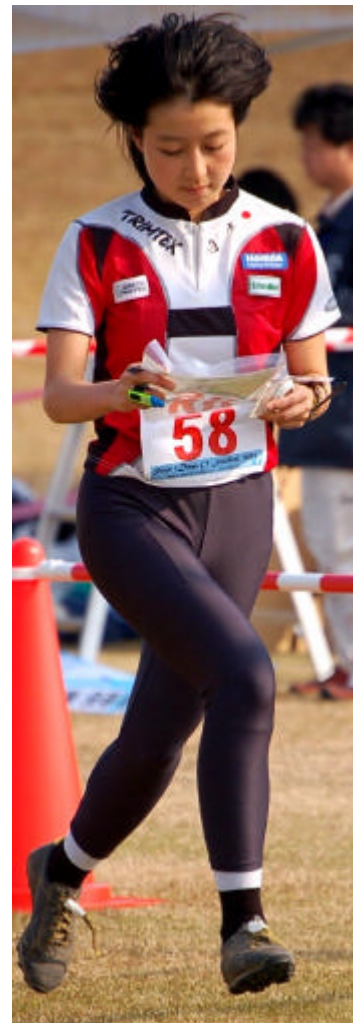
「このトレインはあまりいい思い出がない。精神的に萎えないこと、そして丁寧にやっつけていこうと意識してやった。最後は気力で走った。」

関西から関東に番場が移ったのはより良い競技環境を求めてのこと。番場は会社からスポンサーシップを得て、

今後3年間は1時間勤務時間の短いセミプロとしてオリエンテーリング活動に打ち込むことになった。

「今後どんどん競技力をあげてゆきたい。関西の番場ではなく日本の番場になりたい。」

表彰式の壇上で番場は宣言した。



会場スタートからトレインへと飛び出してゆく番場洋子

## 西日本大会 2005 女子

W 21 E	5900m	340m
1	番場洋子	Team 白樺 1:00:50
2	斎藤早生	Team 白樺 1:06:32
3	渡辺円香	ES 関東 C 1:09:44
4	落合志保子	ルーパー 1:10:59
5	志村直子	渋谷で走る会 1:11:40
6	澤地未来	OLC レオ 1:12:13
7	加納尚子	朱雀 OK 1:15:24
8	皆川美紀子	みちの会 1:19:51
9	石山佳代子	日本女子大 OC 1:19:59
10	高野麻記子	ときわ走林会 1:23:10

## 素晴らしい西日本会場

マイカーでのアクセスする人にとって今回の西日本大会の会場は素晴らしい。まず会場が高速道路のインターから非常に近い。整備された大規模公園の駐車場に車を置けばもう目の前が会場だ。その芝生広場の広いこと広いこと。



素晴らしい紅葉を満喫できた西日本大会。こうした天気の際の青空会場は気持ちいい。

会場は周囲が土手に囲まれた中。青空会場でもこの季節に風が吹けばつらいが、それも和らげてくれる。そしてスタート枠は目の前。フィニッシュも目の前。正面の舞台では男女選手権のインタビューとスタートが行われてゆく。

地図交換に現われた選手権参加者は、まずは会場の周囲の土手を走って声援を受けながら地図交換所へと向かう。次々と速報ボードの名前が更新される。



レースが終わったあとは気持ちのよい芝生の上に敷物を広げそこからキョロキョロしているだけで楽しめる・・・西日本大会はそんな仕掛けになっていたのだ。時折出歩いては速報を見て、昼食のおでん、おもちを食べ歩く。今年最後の秋をたっぷり楽しんだ。

## 気合の入った地図作成

今回の西日本大会では希望が丘文化公園の東側が詳細に図化された。この範囲は微地形が多く、しかも森の中の見通しが良くない。そのためマップコンタクトが取りにくく難易度が非常に高くなっている。

この部分を正確に図化するために今回はGPSも投入された。しかしそれだけでは地図はできない。根気の要る地図調査が行われた。このような正確な地図があって初めて競技性の高い競技会が開催できる。

トレインは確かにヤブがちかも知れないが、正確な地図としっかりしたコースコントロールがあれば公平で質の高い競技大会が開催可能なのだ。



筆者木村の参加したM40Aの微地形ショートレグ。この出来で勝負が決まったようだ。

## 滋賀 2days

11月26-27日の土日は滋賀県の近江希望が丘公園周辺でさまざまなオリエンタリングイベントが行われた。イベントのマルチデー化はここ最近の潮流でもある。土曜休日がだんだん日本中に定着してきたためだ。

土曜日には第二回全日本トレイル0とパーク0が開催された。そして日曜日は今回の軸になった西日本大会。

トレイル0には135名が参加、パーク0に200名強が参加、西日本大会には個人573名が参加した。単独で各イベントを開催するより明らかに集客効果が出ているようだ。

## 木島・トレイル2連覇

全日本トレイル0選手権大会が11月26日(土)に西日本大会トレインの隣

接地域で開催された。その結果、パラリンピッククラスでは木島英登(豊中市)が優勝し2連覇を飾った。

またEクラスでは上位の顔ぶれが世界選手権とはガラリと入れ替わった。田中、伴の若い選手、超ベテランの鈴木が上位に入った。

今回も難問の連続だったが、さすがに2回目ともなるとみんなレベルが高くなっていると感じた。

### 全日本トレイル0 2005 成績

#### パラリンピッククラス

- 1 木島英登 豊中市 10点 TC127秒
- 2 宇田睦 長崎県 5点 TC156秒
- 3 軽森亜希 西東京市 5点 TC178秒

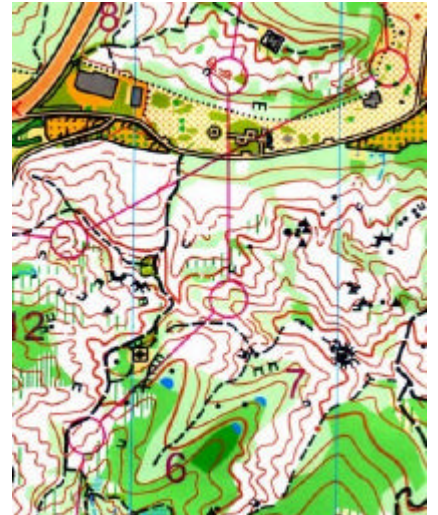
#### Eクラス

- 1 田中淳一 鴻巣市 13点 TC36秒
- 2 伴毅 OLC 東海 13点 TC119秒
- 3 鈴木規弘 多摩 OL 12点 TC124秒

## 滋賀パーク0

通常の開けた公園でのパーク0とは違って、森また森の本格的なコース。目まぐるしく展開する微地形にどれだけ対応できるか、その中でどれだけトップスピードを維持できるかが勝負を分けた。短いコースほど追い込めるので、レース後のダメージが大きい。

結果を見ると上位を東日本勢に持って行かれている。関西勢にはもう少し意地を見せて欲しかった。



パーク0は言え本格的な森でスピードを競う

#### MA 2420m up180

- 1 高橋善徳 28 ときわ走林会 0:19:37
- 2 紺野俊介 27 横浜 OLC 0:20:39
- 3 松澤俊行 33 三河 OLC 0:20:48

#### WA 2060m up130

- 1 金子しのぶ 37 横国 OG 0:21:57
- 2 渡辺円香 30 ES 関東 0:22:26
- 3 志村直子 31 渋谷 0:24:47

(木村佳司)